

地域と いっしょに

地域と杉田劇場がいっしょに考えて、
悩んだり、笑ったりして感動をつくる!!

イマージュISOGO

ISOGO MUSIC AND ARTS GRAND ENSEMBLE



<伝説> は<プラムス>から〜力強い同志の誕生

“ぶらむろ〜ど商店街”発のバンド「PLUM'S (プラムス)」。彼らが開館記念事業の中で杉田劇場のステージに立った時からすべては始まりました。

「ステージに立つ喜びを、ひとりでも多くの人と分かち合いたい!」

「音楽で地域を盛り上げ、磯子区の文化発展の一端を担いたい!」

そんな彼らの情熱と夢は、誕生したばかりの杉田劇場の“地域といっしょに”という想いと重なり、共に歩む<同志>がここに誕生しました。



「イマージュ ISOGO」の誕生

杉田劇場での年1回のメインステージを中心にライブ等を展開していく中で、多彩なアーティストや様々な市民が賛同し、またたく間に参加者の輪が広がりました。そして2007年、広がった輪からパワーUPして、「イマージュISOGO」が誕生したのです。



音楽による地域活性化を目指して

たった1つのおやじバンドから始まったムーヴメント。今や、30組を超えるアーティスト、運営スタッフ含め総勢170名を超える集合体となりました。杉田劇場でのロックフェスにとどまらず、地域のイベントへの出演やチャリティー活動への参加など、磯子区の文化活性化の担い手として、今も進化し続けています。



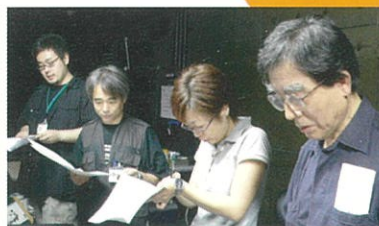
Dr. 野本幸延 (お茶の「野本園茶舗」店主)
G. 相原一司 (和菓子「菓子一」店主)
G. 安西道昭 (酒屋「杉田屋商店」店主)
B. 宮内重明 (「パレ・ド・バルブ」オーナー)

バンド

ダンス

仲間

平成19年度



舞台技術ワークショップ同時開催



舞台上で祝う館長の誕生日



PLUM'Sを囲んで



全員でフィナーレ

平成20年度



スタッフ参加の区民たち



杉劇リコーダーズゲスト出演



全員でフィナーレ



恒例の翼をください大合唱

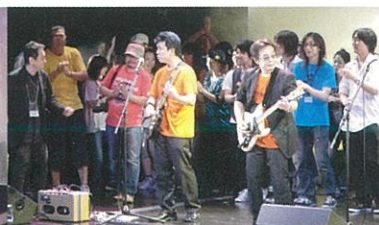
平成21年度



磯子祭りキャラクターいそっぴ



いそっぴも演奏参加



幅広い世代の全員でフィナーレ



区長と館長も合唱に参加

杉田劇場を内から支える、区民の「輪」



区民が杉田劇場の事業に関われるように、とオープン当初スタートした「区民企画委員」。運営していく中で、さらに発展し新たに誕生した、より身近で地域や区民のニーズに寄り添った「杉劇@助っ人隊」。杉田劇場を内側から支える地域の「両輪」ができました。

区民企画委員 & 杉劇パートナー

杉田劇場の区民企画委員は、2年の任期で計21人の方々に参加。企画委員自身によるプロデュース事業を展開。卒業した区民企画委員は、「杉劇パートナー」として、卒業後も様々な事業や運営をサポート。



音楽でめぐる世界の旅

すぎげき 歌い箱・笑い箱

いそご 蠟燭能ワークショップ

杉劇@助っ人隊

誰でも気軽に参加できる「助っ人」というコンセプトで、公演の準備や受付など、杉田劇場の“顔”として活動いただくお手伝いメンバー。今では、「杉田劇場夏祭り」でメンバーが自主的に企画を立ち上げるなど、お手伝いの域を超えて活動中。



お客様を迎える杉田劇場の顔

チケットもぎりやパンフレット渡しなど

公演時のドリンク販売

自主企画「飾り紐 de キーホルダー」

杉田劇場 夏・冬祭り

地域の力が結集!

「劇場」のお祭りから「地域」のお祭りへ

杉田劇場を地域みなさんに知ってもらおう!全館を使って、盛りだくさんのイベントを開催。回を重ねるごとに、商店街や学校、地元のアーティストなど地域みなさんが祭りをつくる側となり、自分たちのアイデアでイベントを企画するようになりました。



出会いの場、活動の場、つながる場

岩崎学園生徒と地元ユリフラワーの舞台での共演や小学生による独自の広報活動など、祭りを通じた出会いと活動は増え続け、杉田劇場のお祭りは地域みんながつながる場となりました。

出会い



のびのび保育園のこどもたち



施設を知ろう!杉劇アドベンチャー



舞台スタッフによるパレーンアート

体験



地元NPOによる竹細工



ヤマハミュージック横浜店ピアノ解体ショー



地元アーティストによる笙体験

協力



(株)ノナカによるスティールパンコンサート



スティールパン体験



出張、磯子警察署



たくさん協賛いただきました

共演



岩崎学園生徒のファッションデザイン



地元ユリフラワーによる花飾り



舞台上で共演



地元の子どもと大人がモデルで参加

発展



杉田小学校5年3組が職業体験



杉田劇場PR大作戦



3年2組が手作りみこしで祭りをPR



杉田梅の紙芝居を企画・制作・発表

ペルーといそごの文化交流展

いそご発
国際交流!



出会い・人の歴史・土地の歴史・繋がり

80年前の横浜港。遙かな異国ペルーへ移民として渡った3人のおばあさん。彼女たちの絵を海を越えて杉田劇場で展示した。

事の始まりはアーティストの空井(うつい)美和さん。独特の色彩に魅かれて訪れたペルーの地、言葉もわからず困っていた彼女に紹介されたのが日系移民一世の与那嶺ナツさんだった。

与那嶺さんも趣味で絵画教室に通っており、二人は意気投合。たまたま与那嶺さんの手伝いで行った学校で、空きのあった日本語教師の職に就いた。住居のこと、与那嶺さんの孫が横浜在住であること、他にももろもろ…。まるで神様がいるような都合の偶然が空井さんをペルーに引きとめた。

世間話の中で与那嶺さんがふとこんな言葉を漏らしていた「日本でわたしの絵を展示できればねえ…」

与那嶺さんは93歳。空井さんがペルー滞在中だけでも、すでに高齢の在ペルー一世の3人が亡くなっていた。

空井さんが杉田劇場で展示会ができるよと、それを与那嶺さんに伝えると、彼女は空井さんの手を握りしめて、涙ながらに喜んでた。まるで神様みただよお、と。

そして、この展示に合わせて、空井さんが学校で教える子どもたちの独特の色使いの絵と、磯子の子どもたちの絵も合わせて展示し、磯子のこどもたちの絵は海を越えてペルーに渡りました。(聞き手: ヤナキ)



ペルーの学校のこどもたち

ペルー大使も出席オープニング

一世の作品を日本のご親族に返還

日本のこどもたちの作品がペルーへ

地域の文化活動支援

元気な区民活動!



磯子区民の活動と杉劇たまたま箱

磯子区民はノリがよく、元気で積極的な人ばかり。杉田劇場には「これをやりたい! どうすればよい?」と相談に訪れる区民がたくさんいます。杉田劇場のスタッフがアドバイスしたり、サポートすることで、地域のみなさんが一緒になり自らの企画を実現してしまうのです!

また、杉田劇場のスタッフが「杉劇たまたま箱」として区内各地へ出張、イベントを開催することで地域を支援しています。



いそごふるさと寄席

かつて根岸に飛び交っていた飛行艇を展示

美空ひばりと神輿の復活イベント

磯子の魅力発見ビデオフェスティバル



地元ママさん達による劇団横綱チュチュ

磯子区の幻の杉田梅研究家による展示

区民が1から始めたいいそご蠟燭能

中学生が日中親交の為にイベント企画



杉劇たまたま箱・保育園出張

渡邊純一さん、夢樹凛さん

杉劇たまたま箱・らいおんコントラバス

杉劇たまたま箱・げんきDo+ サックス